



『七里っ子が見せた一年の成長』

さいたま市立七里小学校
校長 館 和 成

立春からおよそ1か月が過ぎました。冷え込む日や風が強かった日もあり、冬の厳しさを感じる2月でしたが、日中の陽ざしには確かな温かさが感じられるようになってきました。校庭の桜のつぼみはまだ小さいものの、春休みの頃には、また満開の桜を見ることができると楽しみにしています。今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返ると、七里小の子どもたちは、学習や生活のさまざまな場面で大きく成長してきました。学級での話し合い活動や友達との関わり、委員会活動や異学年交流など、どの場面でも自分の考えをもち、仲間と関わりながら学ぶ姿が多く見られました。

1月に実施した「さいたま市学習状況調査（学習の調査）」では、国語・算数・社会の3教科で、本校の正答率が昨年度をいずれも上回り、市全体の平均正答率も上回る結果となりました。これは、研究主題「自分の考えをもち、自ら表現する七里っ子の育成」を目指した授業改善が、子どもたちの学びに浸透してきた成果と捉えています。話し合い活動の充実や考えを説明する場面の工夫を継続してきたことで、根拠をもって読解する力、筋道立てて考える力、資料を読み取る力が育ち、今回の結果に繋がったのだと思います。

生活習慣に関する調査では、「学校に行くのは楽しいですか」「地域の人たちは自分たちを見守り、支えてくれていると思いますか」の質問で、いずれも肯定的な回答が9割を超えていました。また、「この1年間にボランティア活動に参加したことがありますか（住んでいる近所で行われる清掃活動や、お祭りでのボランティアも含みます）」の質問では、肯定的な回答が、市の平均を上回りました。こうした結果から、七里小の子どもたちが、学校に安心して通い、仲間と過ごす楽しさ、地域に支えられているという温かさを感じながら日々を過ごしていることが伺えます。友達を思いやる姿や、人の話を聞いて自分の考えを深める姿、そして地域の方々への感謝の気持ちが、この一年を通して確かに育ってきたことを強く感じています。

こうした「生活面の豊かさ」は、学級の落ち着きや学習への集中にも繋がっています。毎朝、御家庭で子どもたちを温かく送り出していただき、地域の皆様に見守られながら安全に登校できていることは、学校にとって大きな支えです。安心して一日をスタートできることが、落ち着いた授業の雰囲気、そして学習の成果にも繋がっていると感じています。子どもたちが伸び伸びと学び、人を大切にできる心を育てている背景には、家庭・地域・学校の三つの力が一つに繋がっていることを改めて強く実感しております。日頃からの温かい御支援に心より感謝申し上げます。

来年度の令和8年度、七里小学校は創立155周年という節目の年を迎えます。これまで地域とともに歩んできた歴史を大切にしながら、子どもたちが互いを認め合い、自ら考え、表現し、学び合う学校づくりを、より一層進めてまいります。

御家庭でお気付きの点や御心配なことがございましたら、どうぞいつでも学校まで御連絡ください。また、お子様の学校での様子を御覧いただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

令和7年度も1年間、本当にお世話になりました。皆様の七里小学校への温かい御理解と御協力に感謝申し上げます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。